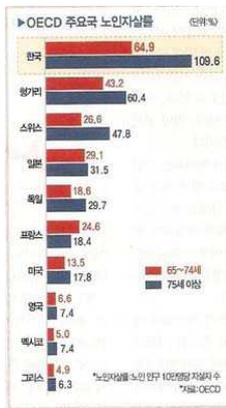


+幸せを探すあなたへ

老いていく人生、 熟していく人生



韓国の恥ずかしい世界 1 位
韓国の老人自殺率が先進国の集まりである経済協力開発機構(OECD)の会員国の中で最も高いと 5 月に発表されました。韓国の 65 歳以上の老人人口 10 万人当りの自殺率は 1998 年に 38 人から 2007 年には 73.6 人に 2 倍程度も増え、年を取るほど自殺率は、もっと上昇しています。韓国の老人たちが、人生の後半期に自ら

命を絶つ場合が増加するのは、それだけ老人たちの人生が苦しいということでしょう。OECD が調べた韓国の老人世帯の相対的貧困率の統計を見ると、2006 年を基準にして、45%の老人が貧困層だと現れました。また保健福祉部が発表した「2008 年有病率調査」によれば、65 歳以上の痴呆患者数が急増して、老人の人口の 8.5%に達する 42 万人、20 年後には 100 万人を越えると明らかにしました。すでに韓国は 2000 年に全体の人口の中で、65 歳以上の老人の比重が 7%以上である高齢化社会になっていて、2018 年には老人の比重が 14%を越える高齢社会に進むことが予想されています。神様のみことばの聖書を見れば「孫たちは老人の冠、子らの光栄は彼らの父である」(箴言 17:6)とされていますが、真に幸せで健康な高齢社会を作る道はあるのでしょうか。

老いていく人生、熟していく人生 人間が最も美しく幸せな姿だった時はいつだったのでしょか。聖書は、神様が人間を創造された時だと語っています。「見よ。それは非常によかった」(創世記 1:31)

ところで、そういう人間の幸せは、サタンの誘惑に負けて神様を離れた原罪によって、めちゃくちゃに壊れてしまいました。その後訪ねてきた苦しみの姿が、まさに今日の私たちの人生の姿です。人間は、自分が願っても、願ってなくても、二つのうち一つの遺産を残すようになります。醜く老いていく人生の遺産、あるいは子どもの栄光になる熟していく人生の遺産です。熟していく人生の遺産とは、何を意味するのでしょうか。聖書は、**神様に会った者の遺産**をこのように紹介します。神様とともにいる祝福、神様に導かれる祝福、神様の答えを受ける祝福、サタンの働きと暗やみの勢力に勝てる祝福、天の御座の御使いの保護を受ける祝福、この世だけでなく、永遠な天国を味わう祝福、そして、苦しみを受ける人と家系を生かす最も価値ある人生の遺産を残すようになります。しかし、神様に会えないまま**老いていく人生の遺産**もあります。理由も知らないまま受けるしかないサタンがもたらす霊的問題の苦しみ、恐れの中でさまようことしかない偶像崇拜の呪い、慰める道がない人生のむなしさと虚無感がもたらす精神問題、病気に苦しめられる肉体の問題、死んでも苦しみを受けなければならない永遠の地獄の刑罰、そして、自分の意志とは関係なく、次の世代に呪いと災いを相続する恥ずかしい人生の遺産を残すようになります。

一度しかない人生、その中で与えられた、ただ一回の選択は、人生の結果を完全に違うようにさせてしまいます。人と家系を生かす価値ある人生、呪いの相続を継続する恥ずかしい人生の基準は何でしょうか。その基準は、人間が絶対に解決できないサタンがもたらす霊的問題を解決して、罪と呪いと死の原理から人間を解放し、神様に会って最も幸せで価値ある人生を生きるようにさせるイエス・キリストとの出会いです。世の中の選択は 10 年を変えられますが、信仰の選択は永遠を変えることができます。この愛が、あなたに向かった神様の贈り物です。

長老伝道企画時代²¹

重職者 - 時代を夢見る者

何を夢見ているのか? 単純に見えるこの質問が、私たちの人生の未来を左右する指標として作用するという事実に対して、どう思いますか。この前、ベストセラーにランクされた<夢見るタラップ>は、「生き生きと(vivid)夢見れば(dream)成就される(realization)」というR=VD公式を打ち出して読者の間で大きい反応を呼びました。しかし、世の中にはこういう甘い夢だけあるのではないように見えます。多少、暗い話ですが、何年か前の学校暴力サークルである一進会の加入式で、先輩に袋叩きにされて死んでしまった一人の学生がいました。ところで、その学生が死ぬほど鞭打たれても喜んだ(?)理由は「最高の長」である先輩に殴られること自体が栄光で、最高の実力者に注目されて彼の手が触ること自体が、自分の位置を格上げさせると信じていたためだということです。少し後には、自分もそのような位置に上がるという期待する心理も、また作用したということです。自分の価値を知らないから誤った心理を持つようになって、夢もいじめられることになり、結局、他の人までいじめられるようになったのではないのでしょうか。聖書の中のヨセフは世界福音化という驚くべき夢を見て、父のヤコブはヨセフの夢を心に深くとどめていました。それなら、今日、次世代を抱いて祈る重職者は、どんな夢を心に抱かなければならないのでしょうか。

重職者の夢-伝道企画 重職者企画は大きく3つの土台を作ることだと見ることができます。まず、未来に次世代が伝道できるように土台を作ること、5人1組、あるいは大学生の秘書がこの土台のことです。二つ目、次世代(レムナント)が思いきり活動することができるように土台を作ってやらなければなりません。三つ目、教役者を助け、その人々が正しくみことばを伝えられるように準備しなければなりません。これを土台に、時代を夢見る伝道企画を準備していけば良いのです。たとえば、重職者が大学生と対話もできないのに、講壇で大学のために祈ったら、現場を知らない違った祈りになるのではないのでしょうか。職場の現場を知らないで祈ることも、やはり同じでしょう。だから、お互いに対話しながら疎通できる準備をすることが、とても重要なことなのです。伝道企画は、状況に合うようにするのが重要ですが、時にはゲームをするように、時には競技するように、ある時は戦争をするようにすべきです。まず、黄金漁場から把握して、その中の一箇所を定めて徐々に征服して入れれば良いのです。これとともに、派遣を念頭に置いたキャンプをします。このためには「だれを、いつ、どこに派遣するのか」を企画することが、とても重要になります。確実な答えが出てきた時、派遣式をすれば伝道企画が終わります。重職者の伝道企画を通して、必ず成される民族福音化、世界福音化の夢があなたの心を美しく染めるように願います。

神様の子どもになる
受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様の子どもの五つの確信

救いの確信: イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ8:15~16、Iヨハネ5:10~13)

祈り答えの確信: 神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ15:7)

導きの確信: 神様は聖霊であなただの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ14:26~27、箴言3:5~6)

赦しの確信: あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さい(IIヨハネ1:9、ローマ3:24)

勝利の確信: 救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ8:31~37、Iヨハネ5:4)



神様の子どもの毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタン勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。

毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

万物を従わせる御名 イエス・キリスト (Jesus Christ)

伝道者よ、伝道の奥義を知りなさい! 伝道に関して知らないならば、真の伝道者と言うことはできないでしょう。それなら、伝道をどのように定義できるのでしょうか。伝道は一言で「神様の絶対的主権が成される時刻表」です。全てを備えて統治される神様の力で、世界の基が置かれる前から、世々にわたって長い間に備えられた者を救い出すこと、神様が救うと定められた者を救い出すのが伝道です。この奥義を抱いた者が真の伝道者です。伝道者に与えられた最も大きい祝福は、聖霊がいつもともにおられるという奥義でしょう。聖霊は、特に今日、あなたが聖霊様と通じる最も正確で細かくて具体的な伝道スケジュールを持つ時、強く働かれます。これが創造の祝福、備えられた祝福、神様の意図的祝福、現場に向かって決意された神様の時刻表を味わう通路です。神様は現場に弟子を必ず準備しておかれました。伝道の奥義に目を開いた伝道者は、必ず弟子に会うようになります。神様の正確な時刻表の中で。

伝道者よ、祈りの奥義を味わいなさい! 伝道者が受ける答えの中の答えは、祈りがなることです。祈りになるということは、神様が私とともにおられて、神様が私たちの中にもおられる事実を味わうことです。「主がヨセフとともにおられたので...」「主は私の羊飼い。私は乏しいことがあります」「わが子よ。キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい」このみことばが成就するのが、答えの中の答えです。このとき、3つの目が開かれます。伝道者は成功でなく、現場を変化させることに人生の目標をおかなければならないという事実を見るようになります。お金に価値をおくのではなく、伝道と宣教とレムナントと未来に向かって備えられた神様の隠された祝福を見つけることに関心を持つようになります。他人のことを奪って勝ち取るのではなく、神様の計画を見て味わう目が開きます。伝道者は、サタンの町に向かって挑戦する者です。伝道者は、たとえ大きい苦難の中にもいるとしても、神様は伝道者の祈りを聞かれて、なくした福音を知って回復するようにされます。確かな希望を持って忍耐しながら祈る時、神様の力を体験するようになって、結局、全世界に主が生きておられることを知らせる真の伝道者の生活を送るようになるのです。

伝道者よ、リズムに乗りなさい! 伝道と祈りの奥義があるならば、普段の時に、いつも祈りのリズムに乗れば良いのです。定刻祈りとは、私の生活のリズムを神様とともに乗ることで、24時いつでも祈れということは、やはり生活の中で、祈りのリズムに乗りなさいという意味です。また、礼拝祈りを通してみことばが生活の中に入ってきて、リズムに乗るようになるのを体験するようになります。この3つの祈りをして、特別なことが起こった時は、特別祈りをすれば良いのです。このとき、どこへ行っても、聖霊の働きを体験するようになって、必ず現場を動かす奥義を発見するようになります。現場に行けば、先に答えが待っているのが見えて、キリストの必要性を見るようになって、福音が必要な人に会うようになります。そこに神の国が臨むのを知るようになって、聖霊の働きを体験するようになります。この奥義を味わう者は、リーダーとして用いられるようになります。伝道の奥義の中には、ないものがなく、レムナントが行く道を防ぐ者はありません。世の中のどんなものも、あなたを神様の愛から引き離すことはできません。イエス・キリストの御名は、人間が絶対に解決できない問題に対する完全な答えで、すべての万物を従わせるほどの、唯一の御名です。どんな場合もがっかりすることなく、キリストを心に入れて、どんな現場でも生き残る伝道者の祝福を味わいましょう。
説教_柳光洙牧師、整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

10日(月)

家庭問題の中の答え (創世記 37:1~11)

分かってみれば、祝福の中の祝福、呪いの中の呪いが、家庭問題の中にあります。家庭問題の中で神様の大きい計画を見て、家庭問題を越えて世界を見る目と器を準備できるならば、最高答えの土台になるでしょう。

11日(火)

伝道弟子はどのように神様の導きを受けるべきでしょうか(使徒 13:2~3)

まず自分自身が深く福音を味わい始めれば、自分の現場、教会、出会い、特別な時刻表の中で答えと弟子の門が開かれるようになります。それで、福音を味わう自分だけの聖霊に満たされる方法を持つのが聖霊の導きの最高の鍵です。

12日(水)

伝道者が一番先に回復しなければならないこと(マルコ 3:13~15)

伝道者は霊的事実と周辺の霊的状态を知って定刻祈りをするとき、自分を越える霊的な力を持つようになり、常時祈りの中で現場の霊的な文化を征服することが起き、礼拝祈りを通して視空を超越する聖霊の働きを味わうようになります。

13日(木)

世界福音化のための生き方(使徒 16:6~15)

神様の子どもにとって最も価値があって、素敵な人生は、世界福音化のために生きていくことです。今日のみことば、今日の祈り、今日の伝道を持って、素晴らしい人、力を与える人、霊的な目を開いて神様の永遠な祝福を味わう生活を送ることで。

14日(金)

RUTCの奇跡(コリント 7:10)

福音の他に動機がないのかを振り返って、正しい聖霊の導きを受けるために悩むべきです。人を生かして、全体が共に行くことができる新しい動機、時代と文化を生かす神様の聖なる動機で武装した私たちの次世代を証人として立てなければなりません。

15日(土)

三つの唯一性(エペソ 1:3~5)

世の中のことは一時的ですが、唯一性は福音の中で永遠に残ります。それで伝道者は、神様に召されたことと、地域、教会、出会いに対する神様の計画と、伝道運動の祝福に対する唯一性を握って挑戦すれば、一時代に最高の答えを味わうようになります。

週間メッセージ

産業宣教 重職者と国外システム
(ローマ 16:1~27)

伝道学 | 「ビジョン作り」 - 現実化
核心訓練 | 伝道者が味わう物質と献金
(使 4:32-37)

聖日1部 主の御名をみだりに唱えてはならない(出 20:7)

聖日2部 だれも引き離すことはできません
(ローマ 8:31-39)



ラスト_ユン・スルギ

どこに おられますか

笑い話だが、このごろ、えん魔が業務をよく果たせないという。なぜなら、発達した整形の効果で、死者を連れに行く顔が変わっているため、人を見つけることができなくて、結局、辞表を出すに至ったということだ。一つの笑い話に過ぎないが、ここにいくつかの偽りが隠れている。冗談の中に入っている不正確な話が、福音を曇らせる。えん魔は地獄の王ではない。偽りの論理の中に、宗教が作り出した虚像が、えん魔だ。えん魔は、一介の汚い悪霊に属する存在だ。

霊的存在は、本来、神様と人間と天使の三種類しかなかった。永遠な神様が天使を霊で作られ、神様に仕えるようにされた。人間は、天地創造の中で一番最後の時間である6日目に、土で作って、肉体を持つようにされた霊的存在だ。生きた霊である神様が、ご自身の霊を人に入れられた。それで、人間は生きた霊になった。このとき、神様は肉体を持たない天使を人間に送って、人間を助けるようにされた。霊と肉を持っている人間は、神様の最高の愛で力を受ける特別な被造物になったのだ。

神様を賛美することで永遠に生きるべき天使の中で、一番上になりたがった高慢な天使が、神様の御座を見下げることによって墮落して、空中に追い出された。この時、天の天使3分の1が誘惑にのって、墮落した天使、すなわち、サタンに従って悪霊になった。サタンは、自分がのぞき見て知っている神様の知識を利用して人間をだます道具として活用して、偽りの父になった。サタンは、この世のいろいろな宗教を作り出して、無駄な知識である哲学で苦しみから出られないようにさせ、人間自らをわなにはまるようにする善行で、人間を破滅の中で陥るようにしたが、この戦略は、今でもとても巧妙に人間をだますことに成功している。

神様の次であった人間が、サタンのわなにはまって、霊が死んだ状態の肉体を持った人間になったので、霊的秩序で上の天使の下の段階に落ちるしかなかった。結局、人間は神様、人間、天使の順位と認められたところから、神様、天使、他の天使(サタン)、人間(罪人)の順位に落ちるようになった。その証拠が、神様に会えない存在で、サタンの人生を滅ぼすプログラムである生年月日による運勢、運命に縛られて苦しみを受ける存在になったのだ。

今、私はどこにいるのか。どうしようもなく、自然のままの人は、サタンを父として仕え、偽りの父に従う、だまされた人として生きている。賢い常識で生きようとしても、空気を水の中に閉じ込めることができないように、人間はサタンのわなから抜け出すことはできない。それで、イエス様が罪人である人間に、真の自由を与えようと、サタンのわなを断ち切る働きを成し遂げられたのだが、それがキリストの働きだ。どんな場合にも、人間はサタンの策略に勝つことはできない。しかし、イエスがキリストであるため、人間の呪いが解決されて、真の人間(義人)になる道が開いた。これは、霊的事実なので、目で確認できない。しかし、真の運命の解決者がだれなのかは、あえて説明しなくても、結果を通して知ることができる。罪人は今でも相変わらずサタンの呪いと災いの下で当然に苦しみを受けなければならない。それが霊的秩序だ。しかし、罪を解決された義人とされた人間は、サタンからの自由と、神様の愛を味わう。それで、天使もこの事実を今でも首をかしげながら理解できない。霊である神様が肉体を持って、罪人になった肉体のために死んで義人とされた、このことは、私をサタンでなく、神様のそばに置かれようとする愛のゆえだ。それなら、今、あなたは、どこにいるのだろうか。

文_チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまで連絡してください